

牧草と園藝



品質良好，まっすぐな丸莢種

Bush Bean

手なしさいとう そよみどり

特 性

1. 早生でつくり易い

草丈40～50cm，葉色濃緑の強健な草姿で，病害にも強く，つくり易い早生品種です。

2. まっすぐで上物率高く，品質良好

莢の長さ14～15cmのすじなしの丸莢で，特に曲がりやおうとつが非常に少なく，上物率の高い優れた品質を示します。また，子実の肥大も緩慢なため，多少太くなくても硬くなりません。

栽培の要点

1. 生育適温は，10～25℃

比較的冷涼な気候を好みますが，霜には弱く，開花期以後は，15℃以上が必要で，暖地での4月以前，寒冷地での5月以前は，トンネルやハウス内での保温が必要です。また，ハウスの場合では，30℃以上の高温で落花しやすいので，日中25℃以上のときには，換気に注意します。

2. 排水良好な土壌を好む

排水良好なpH5.5～6.0の土壌に適しており，特に過湿な条件では生育が悪くなるので，排水を良くすることが必要です。

3. 播種・育苗

トンネルなどの早熟栽培では，育苗を行ない，播種後20～25日の，本葉が出る前に定植します。定植は，一般に，70～100cmのベッドに株間30～40cmで2条植とします。露地栽培では，栽植密度50～60cm×20～25cmに2～3粒ずつ播きます。播種量は，移植栽培で4～5dl/a，露地栽培で5～7dl/aです。

なお，播種時には，チウラム粉剤，VCT粉剤等を種子粉衣して，高い発芽率を確保することが大切です。

4. 施 肥

一般に，10a当たり成分量で窒素12～15kg，リン酸15～25kg，カリ12～15kgを施用し，手



なしさいとうでは，生育期間が短かいので全量基肥とします。また，リン酸の肥効が大きいのので留意します。

5. 収穫間隔を短かくして良質の莢を

播種後50～60日頃の，開花後10～12日で若莢の収穫が始まり，その後20日間くらい収穫できます。毎日～隔日で収穫すると，品質の良いものがとれるので，多少労力がかかっても収穫間隔は短かくすることが大切です。

6. 病虫害防除

1) 菌核病：発芽後から立枯れ症状を発生させ，本格的には，開花後，若莢に発病し，変色，軟腐症状を示します。予防的にビンクロゾリン剤（ロニラン水和剤，スミレックス水和剤等）の1,500～2,000倍液を散布します。

2) アブラムシ：ウイルス病の原因ともなるので，播種時に，エチルチオメトン剤（ダイジストン粒剤，エカチンTD粒剤）を土壌施用，生育中には，DDVP乳剤1,000～1,500倍液を散布します。

さいとう品種比較試験成績（露地普通栽培）

中央研究農場（昭55）

品 種	開 花 始	収 穫 始	若莢の色	若莢の長さ	若莢の幅	総 収 量	上物収量	同 左 比	上 物 率
	月 日	月 日		cm	cm	kg/a	kg/a	%	%
そ よ み ど り	7. 15	7. 30	やや濃緑	14.3	0.8	239.5	200.8	137	83.8
ブルーレーク 274	7. 15	8. 2	やや淡緑	16.1	0.8	233.3	146.0	(100)	62.6

注) 5月28日播種，栽植密度 60cm×20cm